

## クレジット・デリバティブ等の引受状況

2010年12月末現在の状況は以下のとおりです。

(三井住友海上火災保険㈱、あいおいニッセイ同和損害保険㈱における引受状況を順に記載。)

### 三井住友海上火災保険㈱

#### ◆クレジット・デリバティブ

(1) 想定元本(2010年12月末現在)の内訳



- ・ 想定元本の総額は 3,741 億円 (前四半期末比+72 億円)。うち企業単体リスクの引受が 1,173 億円 (同+98 億円)、CDO の引受が 2,568 億円 (同▲26 億円) です。
- ・ CDO の想定元本 2,568 億円のうち、企業 CDO に係るものが 2,563 億円、ABS-CDO に係るものが 5 億円です。
- ・ 「クレジット・デリバティブ」における引受リスクは、想定元本の 99.9%が企業の信用リスクです。引受けているリスクの中に米国サブプライムは含まれておりません。

(2) 格付け別の残高構成

#### 企業単体リスクの引受

格付け	想定元本(構成比)			
	国内企業		海外企業	
AAA格	40 (3.5%)	40 (3.6%)	- (-)	-
AA格	753 (64.2%)	718 (64.2%)	35 (65.0%)	-
A格	368 (31.5%)	350 (31.3%)	18 (35.0%)	-
BBB格	10 (0.9%)	10 (0.9%)	- (-)	-
BB格以下	- (-)	- (-)	- (-)	-
合計	1,173 (100%)	1,118 (100%)	54 (100%)	-

#### CDO トランシェの引受

格付け	想定元本(構成比)
AAA格	2,283 (88.9%)
AA格	157 (6.1%)
A格	5 (0.2%)
BBB格	40 (1.6%)
BB格以下	81 (3.2%)
合計	2,568 (100%)

- ・ 上表のとおりです。
- ・ 企業単体リスクの引受に関しては、A格以上の企業がポートフォリオの 99%を占めております。
- ・ また、CDO に関しては、AAA格以上が 89%、A格以上が 95%を占めております。

(3) 「企業単体リスク」ポートフォリオの分散状況

- ・ 国内 63 社、海外 5 社の信用リスクを個別に引き受けており、1 与信先あたりの平均引受額は 17 億円です。

(4) 「CDO トランシェの引受」の平均的な劣後割合

- ・ 平均劣後割合（トランシェの引受額による加重平均）は 17%です。

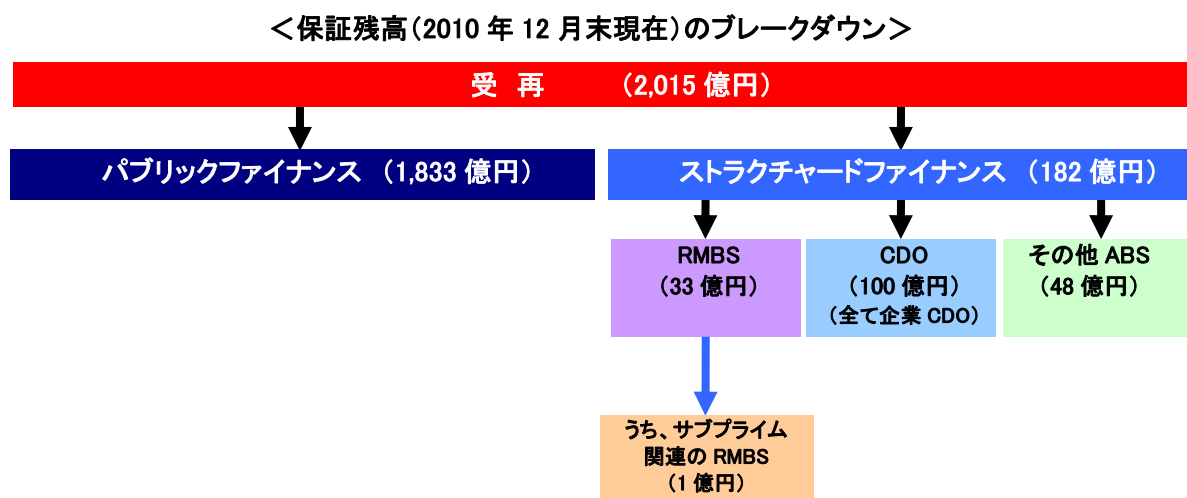
(5) クレジット・デリバティブの評価損益（当第 3 四半期累計期間の損益計上額）

- ・ 評価益+32 億円（企業単体リスク+3 億円、CDO+29 億円）を計上しました。

### 三井住友海上火災保険(株)

#### ◆米国モノラインからの受再

(1) 保証残高（2010 年 12 月末現在）の内訳



- ・ 保証残高の総額は 2,015 億円（前四半期末比▲56 億円）。うちパブリックファイナンスに係る残高が 1,833 億円（同 ▲46 億円）、ストラクチャードファイナンスに係る残高が 182 億円（同 ▲9 億円）です。
- ・ ストラクチャードファイナンスに係る残高 182 億円のうち、RMBS に係るものが 33 億円、CDO に係るものが 100 億円、その他 ABS に係るものが 48 億円です。
- ・ なお、RMBS のうち米国サブプライム関連の RMBS は 1 億円です。

(2) 格付け別の残高構成

(億円)

格付け	引受残高(構成比)	
AAA格	136	(6.8%)
AA格	745	(37.0%)
A格	746	(37.0%)
BBB格	328	(16.3%)
BB格以下	59	(2.9%)
合計	2,015	(100%)

- ・ 上表のとおり、A格以上が81%、BBB格以上が97%と、総体として良好なレベルを維持しております。

(3) 「米国モノラインからの受再」に関して2010年12月末までに発生した2010年度のロス金額

- ・ 支払保険金と支払備金の合計で0億円です。

**あいおいニッセイ同和損害保険(株)**

**◆クレジット・デリバティブ**

(1) 想定元本(2010年12月末現在)の内訳

(億円)

	想定元本	
		前四半期末比
クレジット・デリバティブ	120	▲260
企業単体リスク	20	▲10
CDO	100	▲250
企業CDO	100	▲250
ABS-CDO	-	-

- ・ 想定元本の総額は120億円(前四半期末比▲260億円)。うち企業単体リスクの引受が20億円(同▲10億円)、CDOの引受が100億円(同▲250億円)です。
- ・ CDOの想定元本100億円は、全て企業CDOに係るものです。
- ・ 「クレジット・デリバティブ」における引受リスクは、想定元本の全てが国内企業の信用リスクです。引受けているリスクの中に米国サブプライムは含まれておりません。

(2) 格付け別の残高構成

企業単体リスクの引受

(億円)

格付け	想定元本(構成比)			
		国内企業	海外企業	うち 金融 機関
AAA格	- (-)	- (-)	- (-)	-
AA格	- (-)	- (-)	- (-)	-
A格	20 (100%)	20 (100%)	- (-)	-
BBB格	- (-)	- (-)	- (-)	-
BB格以下	- (-)	- (-)	- (-)	-
合計	20 (100%)	20 (100%)	- (-)	-

CDO トランシェの引受

(億円)

格付け	想定元本(構成比)
AAA格	100 (100%)
AA格	- (-)
A格	- (-)
BBB格	- (-)
BB格以下	- (-)
合計	100 (100%)

- ・ 企業単体リスクの引受に関しては、全てA格の企業となっております。
- ・ また、CDOに関しては、全てAAA格となっております。

(3) クレジット・デリバティブの評価損益（当第3四半期累計期間の損益計上額）

- ・ 評価益 +2 億円（企業単体リスク +0 億円、CDO +1 億円）を計上しました。

以上